

第 6 回 土壁、漆喰を使って健康と地球を守る

土壁は安らぎのある豊かな風情、調湿性、シックハウスの主要原因のホルムアルデヒドの吸収効果、防火・耐震性の他、塗り重ねや再利用ができるため、適切な設計・施工と定期的な維持管理をすれば長寿命の住まいを造ることができます。主要材料は自然材料で廃棄後は自然に還り、製造から廃棄までの CO₂ 総排出量が少ない等、他材料には見られない様々な優れた特性を持つ多機能材料です。一方、京都の土壁の耐震性の高さは各所の実験で確認されていますが、建築基準法上の評価が低く、また土壁に対する知識・情報不足のために土壁を使い難い状況になっています。そのため、土壁の特性に対する正しい知識と最新の研究成果を学び、1300 年の歴史をもつ土壁文化を住まい・まちづくりに活かして次世代につなげていくための各種課題の解決策を皆で考え、その成果を社会に還元するシリーズ公開研究会を昨年度から開催しています。市民、建築設計者、施工者、左官技能者、研究者、行政等の様々な分野の方々と連携して取り組む予定です。ご協力頂ける方はお気軽にご参加下さい。

土壁、漆喰の多機能性の中で、特に近年脚光を浴びている「健康」と「地球環境保全」に果たす役割及び、その特性を活かすための設計・施工・維持管理上の要点を学ぶ。

さらに、他材料には見られない漆喰、土壁の優れた特性を評価して教育・医療・福祉施設等に採用している先導的な取り組み事例を通して、土壁文化の保全・再生方法を考える。

1. 「土壁、漆喰を使って健康、地球環境を守るための設計・施工・維持管理の要点を学ぶ」

佐藤 ひろゆき (京壁井筒屋佐藤代表、京都工芸繊維大学伝統みらい教育研究センター 特任教授)

近年は室内の空気環境を改善してシックハウスやインフルエンザ等の集団感染、院内感染を抑制するために内装(壁・天井)に漆喰を使用する事例が増えてきている。京都左官協同組合のこれまでの研究成果と長年培われてきた多くの左官技能者の豊富なノウハウと実績をもとに、土壁と漆喰の健康・地球環境面での特性を活かした設計・施工・維持管理の要点をわかりやすく解説する。テキスト: 同組合「左官ガイドブック」。

2. 「公共建築等における土壁、漆喰の再評価の動き」

倉 理一郎 (京都左官協同組合理事長)

健康、環境に優しい自然材料の漆喰を教育施設や医療施設の優れた内装材として再評価して耐震改修やリフォーム時に積極的に活用して漆喰の伝統的技能の保存・継承に取り組んでいる新潟県の事例などを通して、土壁文化の今後の保全・再生方法を考える。

3. 意見交換



新潟県の取り組み—学校の保健室の漆喰塗り施工状況

新潟県資料より

会 場 西陣ヒコバエノ家（京都市上京区上立売通浄福寺西入ル姥ヶ東西町632）

参加費 無料、但し、資料代実費 500 円
研究会終了後の懇親会参加費 500 円（飲み物、軽食付）

定 員 50 名（参加申込み先着順）

参加方法

11月29日（金）までに、お名前、所属、電話番号、FAX番号またはメールアドレス、懇親会参加の有無を明記の上、FAXまたは電話、メールで下記までお申し込み下さい。
シリーズ公開研究会のワーキングメンバーとして参画・ご協力いただける方は申込み時にその旨を併記して下さい。
お申込みと同時に参加受理とさせて頂き、ご連絡は定員締切後に申込みのあった方のみになさせていただきますのでご了承下さい。

参加申込先 関西木造住文化研究会（略称 KARTH：カース）

TEL 075-411-2730 悠計画研究所内、FAX 075-411-2725、

E-mail info@karth.sakura.ne.jp <http://karth.blog13.fc2.com/>

京都市上京区上立売通浄福寺西入ル姥ヶ東西町 632

会場には駐車場はありません。自転車の駐輪場所は、当日、受付でお問合せ下さい。

主催 京都左官協同組合、関西木造住文化研究会

共催 公益財団法人 京都市景観・まちづくりセンター

協賛 一般社団法人 日本建築学会近畿支部、一般社団法人 京都府建築士事務所協会、
一般社団法人 京都府建築士会

後援 京都市、京都府

平成 25 年度 土壁再生シリーズ公開研究会

（会場：西陣ヒコバエノ家）

12月1日(日) 第6回 「土壁、漆喰を使って健康と地球を守る」 (午後1時 5時頃)

平成26年1月26日(日)

第7回 「土壁の住まいの断熱性を高めて快適に暮らす」 (午後1時 5時半頃)

2月23日(日) 第8回 「地震大国日本における土壁の防災文化を創る」 (午後1時 5時頃)

(不定期) 土壁の左官工事の現場勉強会の開催(予定)

会場への交通アクセス

京都市上京区上立売通浄福寺西入ル姥ヶ東西町 632

（角地、お地蔵さんのある家、東隣：月極駐車場）

バス停「今出川浄福寺」、または「千本上立売」、
「千本今出川」より徒歩約 5 分

JR 京都駅より(所要時間 約 40 分)

地下鉄烏丸線「烏丸今出川」駅下車、3 番出口を出た後、今出川通の烏丸今出川交差点東側バス停から西行きのバスに乗車、「今出川浄福寺」下車
市バス利用の場合：A3 の 206 番に乗車、バス停「千本上立売」下車、または B2 の 50 番、101 番乗車、バス停「千本今出川」下車



平成 24 年度 土壁再生シリーズ公開研究会

第 1 回 5 / 6 (日) 午後 1 時半 5 時頃(全回共通、会場:西陣ヒコバエノ家)
「企画会議 みんなで土壁の再生方法を考えよう」

第 2 回 7 / 2 9 (日)
「土壁をさまざまな用途、構造、規模の建物に使えるようにするための防火上の課題と対策」

1. 「土壁、木造建築をさまざまな用途、規模の建物に使えるようにするために」
長谷見 雄二 早稲田大学教授

2. 「京都の木造建築の防火対策の要点を最近の火災事例から学ぶ」
奥谷 博司 (京都市消防局警防部調査課課長)

3. 「先人に学ぶ京都のまちの防火対策」
武田真理子 (悠計画研究所、KARTH 防火・耐震研究チーム)

第 3 回 9 / 3 0 (日)
「土壁の優れた耐震性の公的評価を得るために」

1. 京都の土壁の優れた耐震特性

「京都の土壁の優れた耐震特性」 田村 佳英(KARTH 防火・耐震研究チーム、悠計画研究所代表)

「土壁の材料特性と強度や耐力との関連」 輿石 直幸 (早稲田大学教授)

2. 京都型土壁の優れた耐震・耐久特性の公的評価を得るために

「高復元力の京都型伝統土壁を安定して施工し維持管理する仕組みづくり」

完山 利行 (一般財団法人 日本建築総合試験所試験研究センター構造部構造試験室上席専門役)

「左官技能者の立場から考える土壁の耐力を実現・維持するための品質管理の要点」

奥田 信雄 (奥田左官工業所 代表)

第 4 回 11 / 25 (日)
「土壁の家に暮らす-手入れと地震後の補修・補強方法」

1. 「土壁の住まいに住み続けるために」

2. 「水害に強い土壁の住まいをつくる」

3. 「地震で損傷した土壁を再生する」

4. 「土壁修復ネットワークの構築」

奥田 信雄 (奥田左官工業所 代表)

佐藤ひろゆき (京壁井筒屋佐藤代表、京都工芸繊維大学伝統みらい教育研究センター特任教授)

第 5 回 平成 25 年 1 / 2 7 (日)
「土壁の住まいの断熱性を高める」

1. 「土壁の居住特性」

奥田 信雄 (奥田左官工業所 代表)

佐藤ひろゆき (京壁井筒屋佐藤代表、京都工芸繊維大学伝統みらい教育研究センター特任教授)

2. 「土壁の魅力を活かして住まいの断熱性を高める」

宇野 勇治 (愛知産業大学造形学部建築学科 准教授、宇野総合計画事務所 代表)

3. 「歴史的まちなみの土壁文化を保全・再生する」

奥田 信雄 (前 掲)、佐藤ひろゆき(前 掲)

左官工事の施工現場勉強会 4 / 11 (水) 午後 1 時半 3 時

「京都の伝統的な左官工法を取り入れた伝統構法の木造建物の現場見学」(京都市内)

奥田 信雄 (奥田左官工業所 代表)